

精神科における研修の目標, 方略(方法)及び評価

1 独自の研修目標・目的

小児から高齢者まで, 狭義の精神病からストレス関連疾患まで, 幅広く精神疾患及び関連疾患を外来で経験し, プライマリケアに必要とされる精神医学的な患者の見方を研修する。特に認知症疾患については, 専門的な研修が可能である。

2 精神科研修の特徴

精神科の研修期間は, 1ヶ月であるが, 2週間は当院で研修し, 残りの2週間は研修協力病院である宮城県立精神医療センターで研修する。

- (1) 認知症については, 当院で入院症例を経験することができる。
- (2) 気分障害(うつ病, 躁うつ病), 統合失調症については協力病院で入院症例を経験することができる。
- (3) 症状精神病, アルコール依存症, 不安障害, 身体表現性障害, ストレス関連障害については外来症例の経験になる。

3 研修の目標・目的達成のための方略・方法

- (1) 認知症疾患医療センター新患は予約制, 精神一般の新患は予約なしで受け付ける。
- (2) 再来は午前・午後ともすべて予約制である。
- (3) 午前8時30分に病棟を回診し看護師から申し送りを受け, 午前9時から外来診察に入る。

4 目標達成の評価

主要な精神疾患, 特に認知症疾患, せん妄についての鑑別診断と初期対応ができること。

5 検査

- (1) 心理検査の解釈
- (2) 生理検査(脳波)の判読
- (3) 画像検査(CT, MRI, SRECT)の判読

6 カンファランス

- (1) 入院症例レビュー 毎週月曜
- (2) ケース検討会 毎週月曜
- (3) 抄読会 不定期

7 週間スケジュール

	午前	午後
月	外来新患・病棟業務	診断会議, 症例検討会
火	外来新患・病棟業務	
水	外来新患・病棟業務	
木	外来新患・病棟業務	
金	外来新患・病棟業務	

8 研究活動等

- 1) 症例報告, 臨床研究については具体的に指導する。
- 2) 各種届出書類, 診断書, 鑑定書等の書き方について指導する。